

テーマ 災害対策

## 数は力！建設のプロ集団による大震災からの迅速な復旧

### 協同組合八戸中央建設業協会

粘り強く行政に災害対策の必要性を説き続け、8年後に協定を締結。その後、家具転倒防止器具の取り付けをボランティアで実施。協定締結から3年後、東日本大震災が襲来。

#### 背景と目的

「当地域は海沿いにあり、万一の大規模な災害への備えと、災害後の復旧に対する備えが必要である。これらの役割を担うには地域と現場を知り尽くした地域の建設関連企業による対応が最も迅速で有効である」設立当初から八戸市に対し、防災と災害対策の必要性を訴え続けた。平成20年2月に八戸市と「防災対策等への協力に関する協定」、「災害時における支援協力に関する協定」を締結した。

#### 事業・活動の内容

防災対策としては、組合員のボランティアにより、高齢者住宅を中心に家具等の転倒防止器具の取り付けを行った。対策が必要な住宅のリスト化は各町内会と協力して実施した。大震災前に市内を一巡することができたため、市民からは防災効果があったと喜ばれている。

災害対策としては、災害協定締結後の実際の活動が、東日本大震災となった。震災後は災害復旧対策本部を立ち上げ、被害状況を把握。3月14日に八戸市から道路機能回復の依頼を受けた。活動が可能な組合員を招集し現場視察、作業指示を行い、即座に復旧作業に取り掛かった。対策本部と組合員企業の「現場作業チーム」が直結し、あらかも一つの企業のように作業計画・作業指示・連絡・報告等がなされたことにより、迅速、かつ確かな緊急対応を可能とした。

#### 活動の成果

大震災前から取り組んだボランティアの防災対策が奏功し、被害の減少に寄与することができた。また、震災後の災害復旧においては、迅速、かつ的確に復旧工事を行うことができた。これらの活動により、災害協定の実効性と災害防止・復旧に対する組合の役割が市民、行政に理解され、今後の防災に関する行政との信頼関係が構築された。組合設立前の組合員は、

単独で資格取得、セミナー参加、その他の情報収集を行ってきたが、組合設立後はスケールメリットを活かした活動により、組合傘下のメリットを実感している状況にある。災害防止・復旧活動に関しては、防止・復旧活動を通じ、組合としての団結力が更に強固になり、個々の組合員が組合の社会的存在意義と、事業としての組合への参加意

義をより明確に持つようになった。今回の震災前後の活動により、当組合が市民、行政からより必要とされる存在になることが予想される。



▲道路確保 (八戸市)



▲幹線道路確保 (八戸市)

#### 協同組合八戸中央建設業協会

住所：〒031-0071

青森県八戸市沼館二丁目27番15号

設立：平成12年12月

出資金：2,260千円

電話：0178-41-2333

URL：http://www.htk8.jp/

業種：総合工事業、職別工事業、設備工事業

会員：53人

組合専従者：1人